

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	目標値	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）	目標等の公表先
41209嬉野市	③学校と家庭の課題	02 放課後等における多様な体験活動	子どもと地域住民との関わりが希薄になっており、学校以外で体験活動を行う機会が減少している。	・学校以外での体験活動を通じて、地域の方と児童生徒の相互理解を深める ・より多くの地域の方に関わっていただき、充実した体験活動を実施するため、様々な場において周知を行う	・参加者、サポーターの固定化が見られるため、新規の参加者を確保できるよう周知を広く行い、より充実した体験につなげる	地域の中での活動を通し、子どもと地域のつながりを強化する。また、体験活動で感動や成功体験をすることで自尊心を高め、豊かな人間性や社会性を育むとともに、児童生徒の将来の夢や目標の幅を広げることにつなげる。	体験活動への平均参加人数（1回あたり）	12	人	15	13.5	02本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善	目標15人、実績値13.5人と目標値を下回っているものの、昨年度と比べると増加が見られる。周知をより広くした成果がでているものと考えられる。現在は年度当初に一度行っている周知の頻度を年度途中にも行う等の方法により増やし、より多くの参加者を確保したい。	https://www.city.ureshino.lg.jp/kenko/bunka/24831/1022.html